

## 加茂荘花鳥園の見どころ

加茂荘花鳥園の正面入口にある瓦屋根を頂く伝統的な木造の門や建物は、周囲の山の緑豊かな森と対照をなしています。この景観は数百年前からほとんど変わらず、門に続く道も江戸時代（1603～1867年）につくられた当時の状態のままです。その頃の旅人はかつての秋葉路を歩いて秋葉神社に参拝に行くとき、神社のそばにある加茂家の庄屋屋敷を通ったのでしょ。次第にこの庄屋屋敷は神社の参拝者の休憩所となりました。道行く人は足を止め、屋敷の門の外に植えられた花菖蒲を鑑賞しました。

それ以来、この庄屋屋敷は文化人が訪問・滞在する場所として人気となりました。かつての人々は荷馬車や駕籠や徒歩で訪れましたが、今の人々は自動車やバスでやって来ます。それでも屋敷の内部の雰囲気は何世紀経っても変わっていません。

庄屋屋敷は建てられてから 250 年ほど経っており、屋敷を通り過ぎて美しい庭園を訪れると、時代を遡っているような気分になります。加茂家の人々の何世代にもわたる努力が、手入れの行き届いた庭園のいたるところに表れています。